

2025年度

福山市赤坂町大字赤坂521番地

西部清掃工場解体工事施工監理業務

実施設計書

業
務
概
要

・解体工事施工監理業務 ～ 一式

西部清掃工場解体工事施工監理業務
仕 様 書

2025年(令和7年)7月

福 山 市

第 1 章 総 則

1. 業務の目的及び概要

本業務は、循環型社会形成推進交付金事業として福山市（以下「甲」という。）が実施する西部清掃工場解体工事に伴う施工監理業務を委託するものである。

本業務の実施にあたって、受託者（以下「乙」という。）は、所有する技術者と能力を十分に活用し、甲の指示に従い、甲の立場に立って解体工事受注者（以下「丙」という。）の施工を監理し、安全と環境保全に万全を期した適切かつ円滑な工事の推進に努めるものとする。

2. 業務の名称

西部清掃工場解体工事施工監理業務

3. 業務の場所

福山市赤坂町大字赤坂 5 2 1 番地

4. 履行期間

契約日から 2027 年(令和 9 年)3 月末日まで

5. 施設概要

施設概要を表 1 に、解体対象施設を表 2 に示す。また、現況図（既存施設全体配置図）、解体工事範囲、整地形状（参考）をそれぞれ図 1、図 2、図 3 に示す。

表 1 西部清掃工場施設概要

項目	概要	備考
施設名	西部清掃工場	
所在地	福山市赤坂町大字赤坂 521 番地	
処理対象物	燃やせるごみ	
竣工年月	1980 年(昭和 55 年)8 月※ (設計施工：株式会社 タクマ)	※1995 年(平成 7 年度)～1997 年 (平成 9 年)に基幹改良を実施
処理方式	全連続燃焼式(ストーカ炉)	
処理能力	75t/24h × 2 炉	
対象建屋	管理棟、焼却棟、危険物倉庫、洗車場、汚泥受入処理設備、倉庫、し尿浄化槽、管理人住宅	
敷地面積	18476.40 m ²	
敷地概要	市街化調整地域 防火地域：指定なし 指定建ぺい率：70% 指定容積率：200% 日影規制：指定なし	

表 2 解体対象施設

	施設名称	構造	地上階 (地下階)	建築面積 (m ²)	延床面積 (m ²)	備考
施設	管理棟	RC	2	319.80	619.48	
	焼却棟	SRC	4	1660.99	3030.46	煙突・付属建屋有り
	危険物倉庫	CB	1	15.10	15.10	上屋無し 基礎のみ
	洗車場	S	1	38.84	38.84	
	倉庫	S	1	8.77	8.77	
	管理人住宅	木	1	66.13	66.13	
共通設備		汚泥受入処理設備、し尿浄化槽				

図 2 解体工事範囲

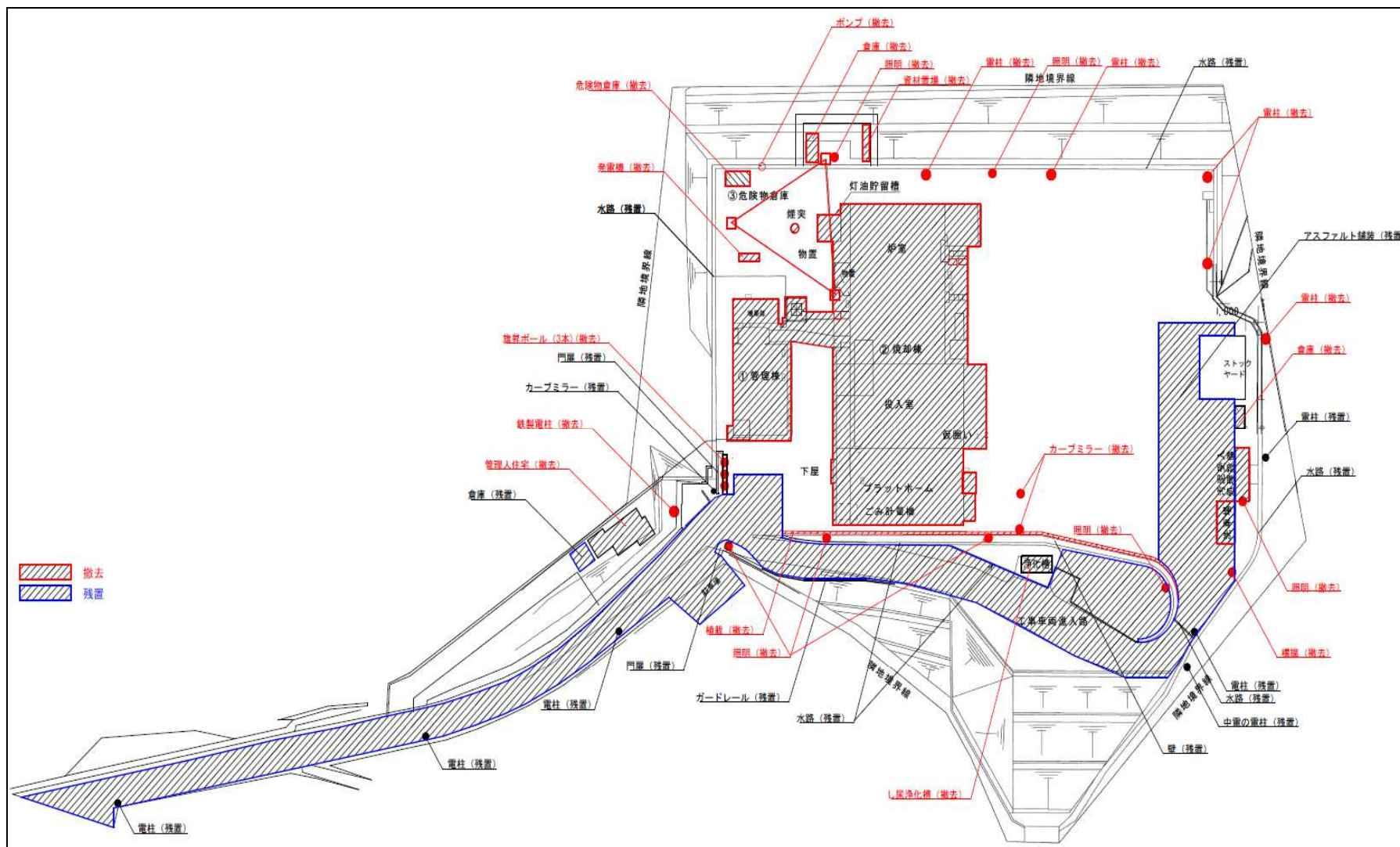
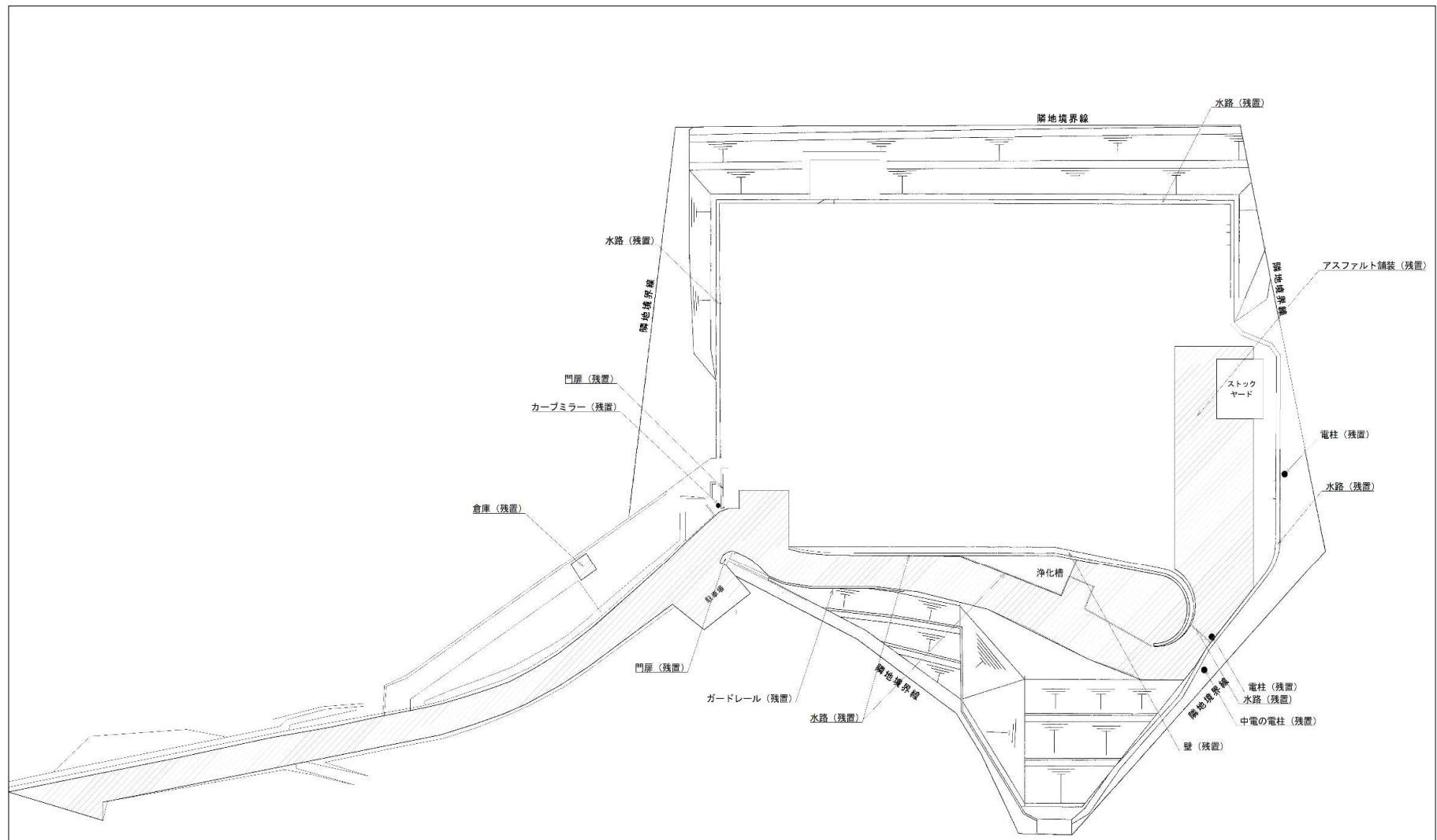


図3 整地形状（参考）



6. 法令等の遵守

受託者は、本業務の実施にあたり次の関係法令等を遵守することとする。[]内は略称。

- (1) ダイオキシン類対策特別措置法
- (2) 廃棄物焼却施設内作業におけるダイオキシン類ばく露防止対策要綱 [DXNs 要綱]
- (3) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 [廃棄物処理法]
- (4) 労働安全衛生法
- (5) 建築基準法
- (6) 消防法
- (7) 航空法
- (8) 大気汚染防止法
- (9) 水質汚濁防止法
- (10) 騒音規制法
- (11) 振動規制法
- (12) 悪臭防止法
- (13) 電気事業法
- (14) 広島県環境基本条例
- (15) 福山市環境基本条例
- (16) 石綿障害予防規則 [石綿則]
- (17) フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律
- (18) 作業環境測定法
- (19) 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 [建設リサイクル法]
- (20) ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法
- (21) 土壤汚染対策法
- (22) 資源の有効な利用の促進に関する法律 [資源有効利用促進法]
- (23) その他関係法令及び基準等

7. 中立性の堅持

乙は、常にコンサルタントとしての中立性を堅持するよう努めなければならない。

8. 秘密の保持

乙は、業務の処理上知り得た秘密を他人に漏らしてはならない。

9. 提出書類

乙は、業務の着手及び完了にあたって、甲の契約約款に定めるものの他、次の書類を提出することとする。

- (1) 管理技術者及び照査技術者選任通知書
- (2) 業務工程表
- (3) 業務委託完了届

10. 管理技術者及び照査技術者

- (1) 乙は、管理技術者及び照査技術者をもって、秩序正しい業務を行わせるとともに、相当の経験を有する技術者を配置するものとする。
- (2) 配置する管理技術者は、技術士法（昭和58年法律第25号）における技術部門の中で、衛生工学部門（選択科目「廃棄物・資源循環」に限る。）、建設部門（選択科目「建設環境」に限る。）又は総合技術監理部門（選択科目「衛生工学一般」及び「廃棄物・資源循環」又は「建設一般」及び「建設環境」に限る。）に合格し、同法による技術士の登録を受けている者、又はシビルコンサルティングマネージャ（RCCM）の登録部門の中で「廃棄物」部門又は「建設環境」部門での登録を

- 受けている者とする。また、DXNs要綱に基づく一般廃棄物焼却施設の解体工事に係る施工監理業務の管理技術者として従事した経験があること。
- (3) 乙は、業務の進捗を図るため、十分な数の技術者を配置するものとする。

11. 工程管理

乙は、業務工程に変更が生じた場合には速やかに再度、工程表を提出するものとする。

12. 検査及び引渡

- (1) 乙は、業務完了時に所定の成果品について、甲の検査を受けることとする。また、この検査の合格をもって本業務の履行が完了したものとし、乙は直ちに成果品を甲に引き渡すものとする。
- (2) 成果品納品後、成果品の内容に乙の責めに帰すべき契約不適合が発見された場合、乙は速やかに訂正し再提出するものとする。

13. 参考資料の貸与

甲の所有する資料のうち、本業務に必要な資料で乙より請求のあったものについては、これを貸与する。この場合において、乙は貸与された資料のリストを作成し甲に提出するものとする。なお、本業務が完了した時は、速やかに貸与を受けた資料を甲に返却するものとする。

14. 参考文献等の明記

本業務に文献その他の資料を引用した場合は、その文献、資料名を明記するものとする。

15. 議事録の作成

乙は、打合せ協議の都度、その内容に関する議事録を作成し、甲に提出するものとする。

16. 関係官公署等との協議

乙は、本業務遂行上関係官公署等との協議を必要とするとき又は協議を求められたときは、誠意をもってこれにあたりその内容を遅滞なく甲に報告するものとする。

17. 疑義

乙は、本仕様書の記載事項に疑義が生じた場合又は本仕様書に記載のない事項については、監督員と協議することができる。

18. 成果品

乙は、業務の完了に際し、次の成果品（電子データを含む）を提出するものとする。

- | | |
|-------------------|-----|
| (1) 現場監理日誌 | 3 部 |
| (2) 立会検査報告書（写真含む） | 3 部 |
| (3) 書類審査結果報告書 | 3 部 |
| (4) 交付金申請書及び関係資料 | 1 部 |
| (5) 上記成果品の電子データ | 一式 |

19. ダイオキシン類事前調査結果

ダイオキシン類事前調査結果は、次のとおりである。

表 3 ダイオキシン類濃度測定結果

設備名				測定値 d (ng-TEQ/g)	解体作業 管理区域	保護具レベル
①	焼却炉本体	1号炉	炉内焼却灰	0	第1管理区域	レベル1
		1号炉	炉壁付着物	0	第1管理区域	レベル1
		2号炉	炉内焼却灰	0	第1管理区域	レベル1
		2号炉	炉壁付着物	0	第1管理区域	レベル1
②	ガス冷却室	1号炉	付着物	8.1	第3管理区域	レベル3
		2号炉	付着物	0.68	第1管理区域	レベル1
③	空気予熱器	1号炉	付着物	1.6	第1管理区域	レベル1
		2号炉	付着物	1.1	第1管理区域	レベル1
④	減温器	1系統	付着物	1.4	第1管理区域	レベル1
		2系統	付着物	3.2	第2管理区域	レベル2
⑤	バグフィルター	1系統	堆積物・付着物	1.2	第1管理区域	レベル1
		2系統	堆積物・付着物	0.73	第1管理区域	レベル1
⑥	煙突		付着物	25	第3管理区域	レベル3
⑦	ダスト調湿装置		付着物	0.98	第1管理区域	レベル1
⑧	灰出コンベア		堆積物	0.14	第1管理区域	レベル1
⑨	灰ピット		付着物	0.067	第1管理区域	レベル1
⑩	汚泥濃縮槽		堆積物	0.11	第1管理区域	レベル1
⑪	灰出しホッパー(別棟)		堆積物	1.0	第1管理区域	レベル1

20. アスベスト事前調査結果

アスベスト事前調査結果を、表 4、5、6 に示す。

表 4 アスベスト事前調査結果（焼却棟）

建材等 名称	レベル	部位	確認場所	アスベスト 含有の有無	確認 方法
ビニールタイル	3	床	3 計量室 8 玄関ホール 9 廊下 20 階段室 21 廊下 23 作業員控室 25 中央制御室 31 階段室 37 クレーン操作室 41 階段室	有	みなし
ソフト巾木	3	巾木	3 計量室 8 玄関ホール 9 廊下 20 階段室 21 廊下 23 作業員控室 25 中央制御室 31 階段室 37 クレーン操作室 41 階段室	有	みなし
ALC リシン吹 付	仕上 塗材	壁	1 プラットホーム(★) 2 エアカーテン室(出口) 2-2 エアカーテン室(入口) 24 電気室 27 炉室 35 電気集じん機室 39 ホッパー室	無	分析
コンクリートリ シン吹付	仕上 塗材	壁 天井	1 プラットホーム 7 工作室 32 タレーン電気室 39 ホッパー室	有	みなし
モルタルリシン 吹付	仕上 塗材	壁 天井	7 工作室(★) 20 階段室 31 階段室	無	分析
吹付吸音材	1	壁 天井	2 エアカーテン室(出口) 2-2 エアカーテン室(入口) 11 空気圧縮室 12 発電機室(★) 14 誘引送風機室 33 押込送風機室	有	分析
コンクリート合 成樹脂吹付	仕上 塗材	壁	9 廊下	有	みなし
ALC 合成樹脂 吹付	仕上 塗材	壁	9 廊下(★) 21 廊下	無	分析
ケイ酸カルシウ ム板第 1 種	3	壁	26 高圧蒸気だめ室	有	みなし
ロックウール吸 音板	3	天井	3 計量室(★) 23 作業員控室 25 中央制御室 37 クレーン操作室	無	分析
石綿セメント板	3	天井	4 洗面所 5 便所(★) 22 便所 38 便所	有	分析
化粧石こうボー ド	3	天井	8 玄関ホール 9 廊下 21 廊下 41 階段室	有	みなし
スレート板	3	天井	44 プロパン庫	有	みなし
コンクリートア クリル系リシン 吹付	仕上 塗材	外壁	45 外壁(★)	無	分析
ALC アクリル 系リシン吹付	仕上 塗材	外壁	45 外壁(★)	無	分析
コンクリートア クリル系リシン 吹付	仕上 塗材	外壁	47 外壁(増築部)	有	みなし
ALC アクリル 系リシン吹付	仕上 塗材	外壁	47 外壁(増築部)(★)	無	分析

※：★は資料の採取を行った箇所を示す。

表 5 アスベスト事前調査結果（管理棟）

建材等 名称	レベル	部位	確認場所	アスベスト 含有の有無	確認 方法
ビニールタイル	3	床	2 玄関 3 事務室 4 会議室 5 湯沸室 6 女子更衣室 13A 階段 14 会議室 15 控室	有	みなし
ビニールシート	3	床	12 実験室	有	みなし
ビニールタイル	3	床	22 踏込 22-2 通路 26 通路 27 事務所 30 渡り廊下	有	みなし
ビニールシート	3	床	23 脱衣室	有	みなし
ソフト巾木	3	巾木	2 玄関 3 事務室 4 会議室 5 湯沸室 6 女子更衣室 13A 階段 14 会議室 15 控室	有	みなし
ソフト巾木	3	巾木	22-2 通路 26 通路 27 事務所 30 渡り廊下	有	みなし
モルタルダイヤ スキン吹付	仕上塗 材	壁	1 ポーチ(★)	有	分析
モルタルゾラコ ート吹付	仕上塗 材	壁	2 玄関(★) 3 事務所 4 会議室 13A 階段	無	分析
モルタル吹付塗 材	吹付塗 材	壁	5 湯沸室	有	みなし
モルタルアクリ ルリシン吹付	仕上塗 材	壁 天井 外壁	19 バルコニー 20B 階段 21 屋上 32 外壁(★)	無	分析
ALC 吹付塗材	仕上塗 材	壁	22 踏込 23 脱衣室 30 渡り廊下	有	みなし
ALC リシン吹 付	仕上塗 材	壁 外壁	22-2 通路 26 通路 34 外壁(増築部)(★)	無	分析
石こうボード	3	壁	27 事務所 28 和室(6 帖)	有	みなし
フレキシブル防 音板	3	天井	1 ポーチ 19 バルコニー 31 テラス	有	分析
化粧石こうボー ド (フネンパー ス)	3	天井	2 玄関(★) 13A 階段	無	分析
化粧石こうボー ド	3	天井	3 事務所 4 会議室 8 廊下(★) 12 実験室 14 会議室 15 控室	無	分析
石綿ケイカル板	3	天井	5 湯沸室 10 洗濯室 11 倉庫 16 洗面所 17 便所 18 湯沸室	有	みなし
石綿板	3	天 井	9 便所	有	みなし
モルタルアクリ ルリシン吹付	仕上 塗材	天 井	6 女子更衣室(★) 7 女子便所	無	分析
吹付塗材	仕上 塗材	階 段 裏	13A 階段(★)	無	分析
石綿ケイカル 板	3	天 井	22 踏込 23 脱衣室(★) 24 浴室	無	分析
化粧石ボード	3	天 井	22-2 通路 26 通路 27 事務所	有	みなし

※：★は資料の採取を行った箇所を示す。

表 6 アスベスト事前調査結果（管理人住宅）

建材等 名称	レベル	部位	確認場所	アスベスト 含有の有無	確認 方法
石綿板	3	壁	3 ダイニングキッチン(★)	有	分析
ラスボード	3	壁	4 和室(寝室) 5 押入① 6 物入 7 床の間 8 和室(子供室) 9 物入②	有	みなし
繊維壁塗り	仕上 塗材	壁	4 和室 7 床の間 8 和室(子供室)	有	みなし
ドロマイトブ ラスター塗り	仕上 塗材	壁	5 押入① 6 物入 9 押入②	有	みなし
ジプトーン	3	天井	3 ダイニングキッチン(★)	無	分析
石綿板	3	天井	10 脱衣・洗面場(★) 11 浴室 12 便所	有	分析
モルタルリシ ン吹付	仕上 塗材	外壁	13 外壁(★)	無	分析

※：★は資料の採取を行った箇所を示す。

21. PCB 調査結果

福山市が実施した調査において、PCB が含有されている機器は発見されていない。

第 2 章 特記仕様書

1. 解体工事施工監理

乙は、解体工事現場のダイオキシン類汚染状況を十分に把握し、解体工事が安全かつ円滑に施工されるよう監理業務を行うものとする。

監理業務を行うにあたり、乙は厳正かつ誠意をもって行動し、常に甲の監督員と綿密な連絡をとり、工事場所内外の状況、工程及び工事内容を十分把握して遺漏のないようにするものとする。

(1) 主な監理内容

- ① 関係部署との協議
- ② 工程会議出席（月 1 回程度の月例会議）
- ③ 管理区域密閉養生立会
- ④ 汚染物除去作業立会
- ⑤ 主要機器解体作業立会
- ⑥ 提出書類審査
 - i) 解体工事施工計画書
 - ア 工事概要
 - イ 組織・体制表
 - ウ 安全衛生管理計画及び体制
 - エ 仮設・準備工事施工計画書（施設養生計画、足場計画を含む）
 - オ 除染工事計画書
 - カ 解体工事計画書
 - キ 汚染物及び有価物の処理・処分及び搬出計画書
 - ク 使用機材リスト
 - ケ ダイオキシン類等調査結果報告書（追加調査等）

ii) 実施設計図書、施工承諾図書

- ア ダイオキシン類等調査計画書、同結果報告書（事前、工事中、事後）
- イ 施工要領書（各機器、建屋ごとの除染及び解体、廃棄物搬出要領）
- ウ 検査要領書
- エ 計算書、検討書（必要に応じて）
- オ 施工図
- カ 工事進捗状況報告書（工事日報、工事月報、工事記録写真等）
- キ 全体工程表
- ク 週間工程表
- ケ 月間工程表
- コ 関係官庁等届出書（解体作業計画届、足場設置届、その他）
- サ 打合せ議事録
- シ その他必要図書

(2) その他の監理

- ① 仮設設置時
- ② 作業環境調査時
- ③ 周辺環境調査時
- ④ 排水・排気処理時

⑤ 汚染物・廃棄物処理処分時など

(3) 次に掲げる事項については速やかに甲の監督員に報告し、その指示を受けなければならない。

- ① 必要な指示を与えたにもかかわらず、丙がこれに従わないとき。
- ② 設計内容の変更を行う必要があるとき。
- ③ 材料、機材等の選定を行うとき。
- ④ その他、不測の事態が発生したとき。

(4) 乙が処理すべき事項は、次のとおりである。必要により乙は丙に対し、資料の提出を求めるものとする。

- ① 丙から提出された書類等の内容を審査し、甲の監督員に提出し承諾を得るものとする。
- ② 監理状況を工事監理日誌に記載し、指示された期日に甲の監督員に報告するものとする。
- ③ 一ヶ月単位で工事の出来高が分かるように、写真、図面、工程表等を添えて監理報告書を翌月初めに提出するものとする。
- ④ 災害防止等のために必要があると認める事項については速やかに処置し、甲の監督員に報告するものとする。
- ⑤ 甲の行う工事の中間検査及び完成検査に関して、事前に出来高を確認し、資料を整理するものとする。
- ⑥ 甲の行う工事の中間検査及び完成検査に立ち会うものとする。
- ⑦ 工事が完了したときは、工事監理日誌、検査資料、工事写真等を一括して甲に提出するものとする。
- ⑧ その他、甲の監督員が指示した事項。

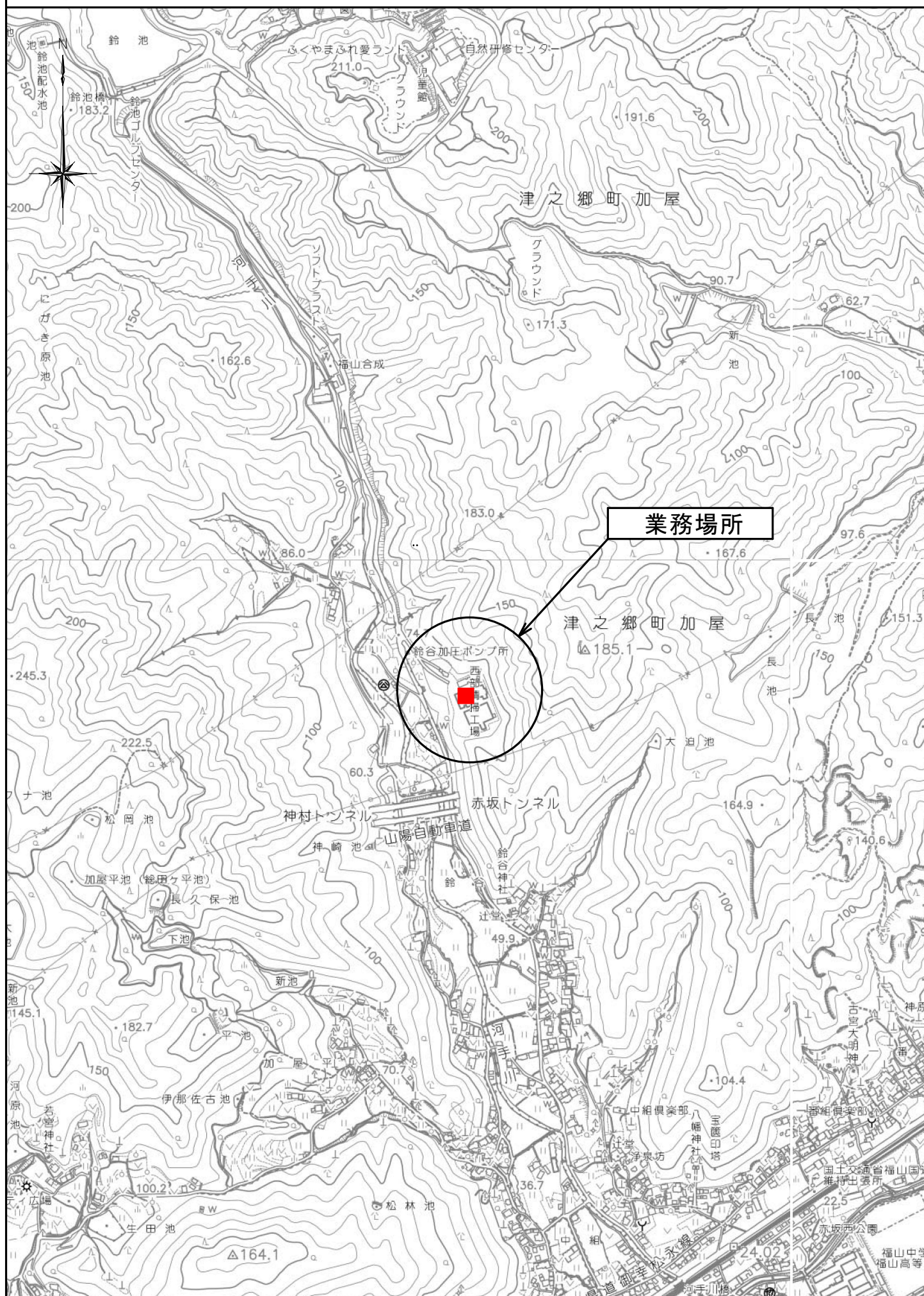
2. 地元説明会等への立会い

本市が実施する解体工事に関する地元説明会等に同行し、助言等を行うものとする。

3. 会計検査の立会い

業務完了後においても、甲の要請に応じて会計検査に立会い、必要な書類の整備に協力するものとする。

位置図



設 計 書

業務名称	西部清掃工場解体工事施工監理業務									
業務場所	福山市赤坂町大字赤坂521番地									
設計金額				百万			千			円
業務価格 消費税等相当額										
設計概要	・解体工事施工監理業務 ～ 一式									

集 計 表

名 称	数量	単位	単価(円)	金額(円)	摘 要
直接人件費					
1.2025年度(令和7年度)	1	式			内訳書 1
2.2026年度(令和8年度)	1	式			内訳書 2
計					直接人件費
直接経費					
成果品作成費	1	式			
旅費交通費	1	式			
計					直接経費
直接原価					
	1	式			
その他原価					
	1	式			
業務原価					
一般管理費等					
	1	式			
計					一般管理費等
業務価格					
消費税等相当額	1	式			
業務委託費					

設計監理、施工図書監理、工程会議、現場施工監理、出来形及び竣工検査等

作 業 内 容	職種	主任技術者	技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員	計	備 考
	単価									
1.設計監理	一式			1.0	1.0	1.0	1.0		4.0	各種計画図書、 工程表等
2.施工図書監理	一式			1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	5.0	施工要領書、検査要領書、届出等
3.工程会議	一式			2.0	2.0	1.0			5.0	月1回程度
4.現場施工監理	一式			2.0	2.0	1.0			5.0	
5.出来形 及び竣工検査等	一式			1.0					1.0	
計				7.0	6.0	4.0	2.0	1.0	20.0	
直接人件費 計										

設計監理、施工図書監理、工程会議、現場施工監理、出来形及び竣工検査等

作 業 内 容	職種	主任技術者	技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員	計	備 考
	単価									
1.設計監理	一式				2.0	3.0	6.5	8.0	19.5	各種計画図書、 工程表等
2.施工図書監理	一式			5.0	9.0	13.0	15.0	19.0	61.0	施工要領書、検査要領書、届出等
3.工程会議	一式			14.0	14.0	7.0			35.0	月1回程度
4.現場施工監理	一式			12.0	12.0	6.0			30.0	
5.出来形 及び竣工検査等	一式			1.0	3.0	4.5	6.0	6.0	20.5	
計				32.0	40.0	33.5	27.5	33.0	166.0	
							直接人件費 計			